

業務改善活動結果報告

笹原専務	改善室	所長	MG	担当者
印	印	印	印	印

平成 30年 7月度 業務改善 活動計画・進捗確認書

営業所名	青森	リーダー	メンバー	メンバー
チーム名	日本3位の居る営業所	チームメンバー	西田	メンバー

活動テーマ	ちょこっと改善
-------	---------

活動進捗確認(全体) (○ △ ×)

対策立案(具体的取組事項)	担当者	実施日						活動結果
		日	日	日	日	日	日	
② 作業時鍵取外し用の鍵入れを作成する	西田	28						効果 ○
②								効果
③								効果
④								効果
⑤								効果
⑥								効果
⑦								効果
⑧								効果
⑨								効果
⑩								効果

活動進捗確認(詳細)

対策立案(具体的取組事項)	担当者
②	遅れ要因 対策
②	遅れ要因 対策
③	遅れ要因 対策

Before (改善前)

関係される方全員に展開をお願いします

関係者外秘

2018年5月11日
トヨタL&Fカンパニー サービス部

販売店労働災害情報

No.18-002 提示期間：2017年5月11日～2018年6月11日

発生日時 2018年5月8日(火) 14時40分頃

発生場所 出張先 お客様構内

受傷者 販売店 Aさん(FE) 44才(作業経験25年)

傷病名 頭部はさまれによる意識不明

<発生状況>
本人(Aさん)は、14時10分からお客様の機台(7FB15[※])の月次検査・修理作業を開始した。機台右側のリフトシリンダー上部確認・点検の際、右側フェンダーに乗り、作業を実施。
※ OPS設定なし機台
作業中、何らかの原因で体勢を崩し、身体の一部が荷役レバーを押したためマストが後傾し(キーON状態)、アウターマストのタイビームとヘッドガードの間にAさんの頭部はさまれた。(事故発見時の状況はアライン、機台の状態から推定)

<発生原因>
1. 動力源遮断を実施していなかった。
2. 作業時に脚立等を使用していなかった。

<再発防止策と横展開事項>
1. 作業時には必ず動力源遮断を実施する。
(目撃や診断など正むを得ない場合は除く)
2. 高い位置での作業では脚立等を使用し、機台には上らない。

【対策と正しい作業方法】

リフトシリンダー上部確認作業の場合
鍵を外す 外した鍵はホルダーへ一時保管

↑ メーカーからの事故報告の防止策 作業時の『**動力源遮断**』

↑ 社内勉強会での事故防止策 『**鍵を外し、ホルダーへ保管**』

○先日発生した重大災害を受け、『作業中は鍵の抜取を徹底する』という対策を打ちました。しかし、ホルダーの有無・場所等が機台によって違うことで、ルールが確実に守られない恐れがあるため、専用のツールを作成しました。鍵の置き場を統一・見ただけで誰でもわかるようにしたいと思いました。

After (改善後)

○ハンドルノブにかけられるような入れ物を用意しました。目立つ色・目立つ文字で、誰が見てもわかるようにしました。ただ、表示シールがはがれやすいので、はがれにくくするにはどうしたらいいかを考えたいです。

(現在は、万が一はがれて無くなったときの一時的な対策として、予備のシールを作成・持ち歩いています)